

木造家屋等低層住宅建築工事における安全のポイント

施工計画の策定

1 工程計画

建方工事・屋根下地工事・ベランダ工事等の作業の順序及び日程を調査し、足場の設置・変更・控えの取り付けについて工程計画を作成する。

3 作業計画

職別工事業者と作業方法・日程・足場の変更等について打合せを行い、作業計画を作成する。

2 足場計画

敷地・建物の形状・移動式クレーンの能力・ジブの旋回半径・架空電線の位置等から足場の構造・移動クレーンの設置場所・架空電線の絶縁用防護管の設置等を決定し、足場計画を作成する。

4 安全衛生管理体制

現場の総括責任者を選任し、現場の巡視・職別工事業者との調整を行わせる。

作業主任者の選任等

- ・ 木造建築物の組立等作業主任者の選任
軒高5メートル以上の建方作業・屋根下地の取付作業・外壁下地の取付作業
- ・ 建築物等の鉄骨の組立作業主任者の選任
高さ5メートル以上の鉄骨の建築物等の建て方作業
- ・ 足場の組立等作業主任者の選任
高さ5メートル以上の足場の組立・変更・解体の作業

作業主任者の職務

- ・ 作業方法の決定
- ・ 作業を直接指揮すること
- ・ 安全帯・保護帽等の保護具の使用状況の監視

足場先行工法について

- ・ 足場の組立・変更・解体においては作業主任者を選任し、その者に作業指揮をさせること
- ・ 足場は作業の進捗状況にあわせて逐次改善すること
- ・ 建方作業時の最上部の作業床は、柱や梁の組立作業がしやすい高さに設置すること
- ・ 建方作業終了後の足場の高さは、外壁工事等のやりやすい高さに調整すること。
- ・ 建築物内部の墜落防止のため安全ネットを張ること
- ・ 足場の一部を取り外した場合は、直ちに修復すること

建方作業等での墜落災害



屋根上での作業時に足を滑らして墜落



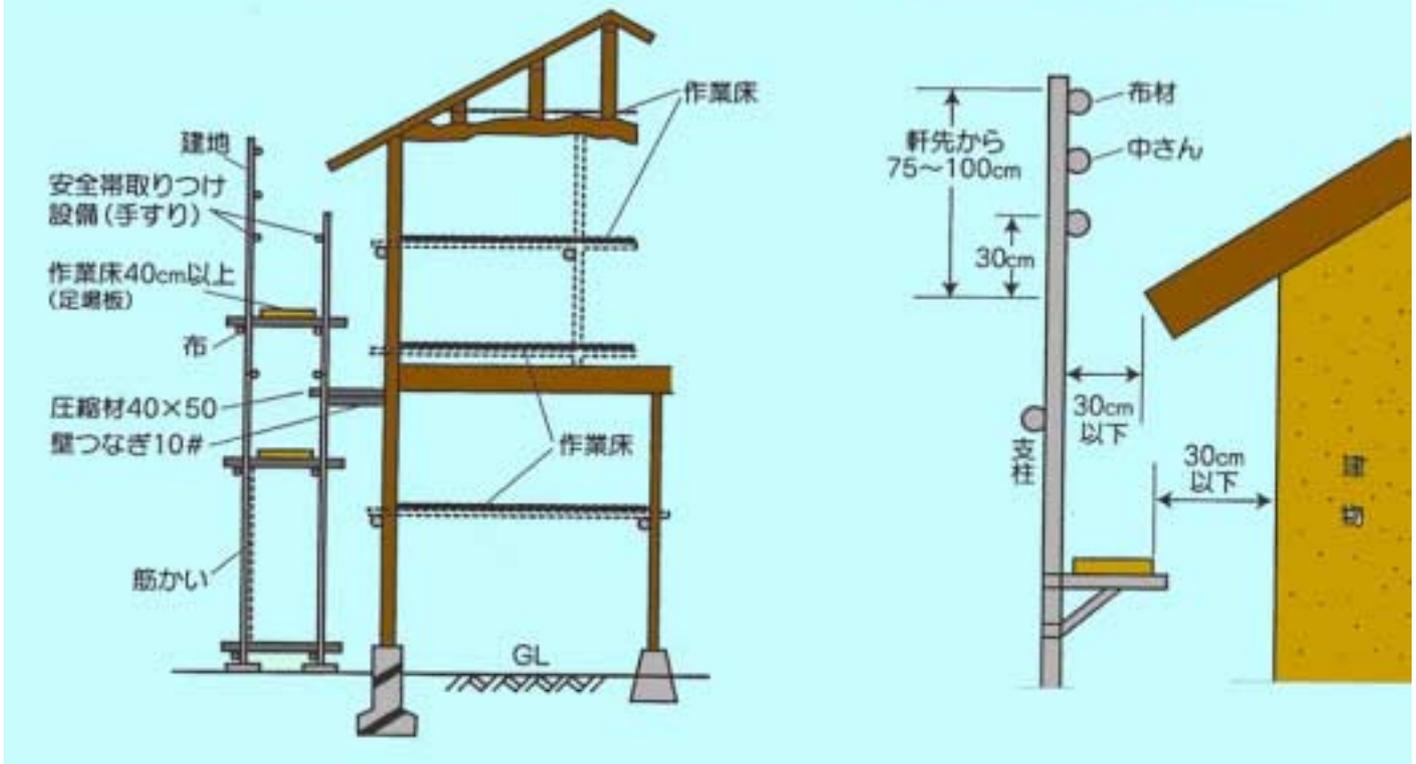
開口部から墜落



足場上での作業中、足を滑らせて墜落

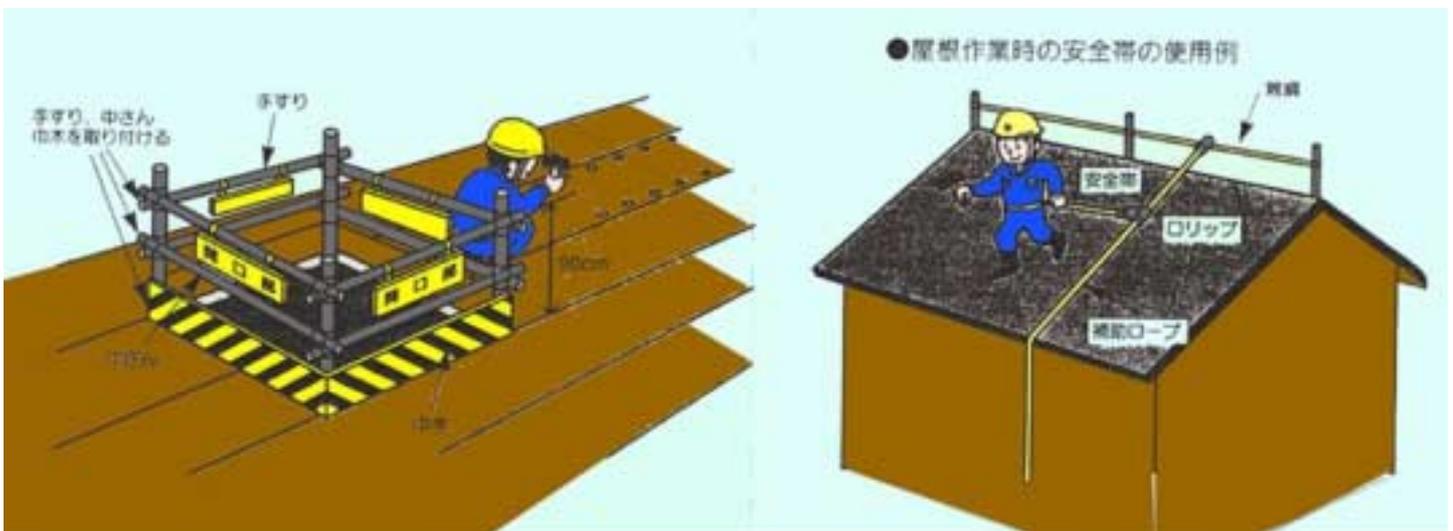
墜落災害防止のポイント その1

- ・ 建方作業開始前に足場を設置（足場先行工法）
- ・ 手すりの高さは、75 cm～90 cm
- ・ 軒先の建地は、軒先より高くし、手すりを設置
- ・ 軒先の建地は、軒先より高くし、手すりを設置すること



墜落災害防止のポイント その2

- ・ 保護帽の着用
- ・ 足場の設置が困難な場合は安全帯の使用
- ・ 建物内部の墜落防止（安全ネット、2階仮床の設置）



脚立・ウマでの災害事例



階段での作業時



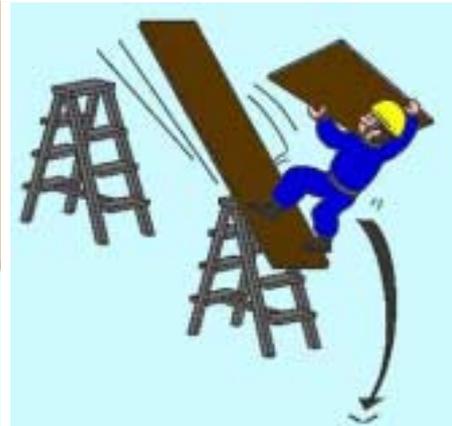
無理な姿勢



脚立を背にした昇降中



天板での作業時



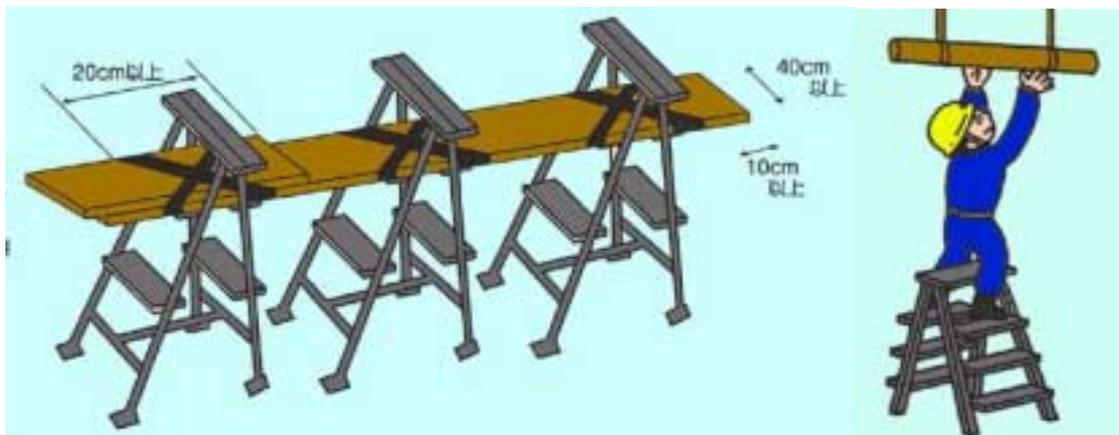
はね出しでの作業

脚立・ウマの災害防止のポイント

- ・ 踏面のある脚立の使用
- ・ 脚部の滑り止めの取付
- ・ ウマは3点支持、足場板はゴムバンドで緊結
- ・ ウマの足場板の重ねは20cm以上、はね出し部分は10cm以下

使用上の安全ポイント

- ・ 高さ2m以上の個所では使用禁止
- ・ 工具等を持っての昇降禁止
- ・ 開口部、足場上等での使用禁止
- ・ 開き止めは確実にセット
- ・ 天板上での作業禁止
- ・ 履物の泥などを落とす。



はしごでの災害事例



はしごの災害防止のポイント

構造上の安全ポイント

- はしごの上端を60cm以上突き出し、緊結する。
- 踏棧は等間隔(25cm~35cm)
- 滑り止めの設置
- 角度は75度程度

使用上の安全ポイント

- はしごに乗って作業をしない。
- 工具を持って昇降しない。
- 履物の泥などを落とす。



丸のこ盤による災害事例



丸のこ盤の災害防止のポイント

- 1 携帯用丸のこ盤の安全カバーは、滑りやすいように手入れをしておくこと
- 2 材料の切断は耕作台の上で行うこと
- 3 足場上や屋根上での作業は行わないこと

